

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 名古屋東急ホテル
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 久野 峯 一
 幹事 萩原 喜代子
 広報会報委員長 牧野 登志子

No. 18

夢をかたちに Make Dreams Real

2008～2009年度 RI会長 李東建

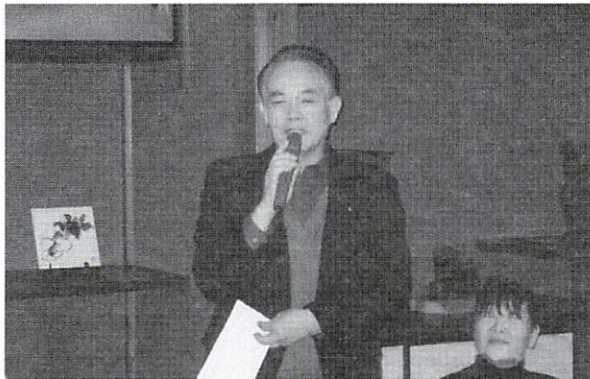
きょうの例会
 第1250回 平成20年11月25日(火)
 友愛の日

先週の記録
 第1249回 平成20年11月18日(火) 曇・小雨
 秋季家族会 バス旅行 湖東三山

◆出席報告

会員 55 (48) 名 出席 26名
 出席率 54.17 %
 前々回 11月4日 (修正出席率) 96.15 %

久野会長挨拶



こんばんは、今日は秋季家族会に御参加頂きまして誠にありがとうございます。

また、この家族会を企画頂きました佐久間委員長をはじめ親睦委員の方々大変御苦労様でした。

明日より大変寒くなるとの事で、今日は秋の快晴の日とはなりませんでしたが雨も無くすばらしい紅葉を見学することができ楽しく過ごすことができました。

ロータリーの重要ポイントは「奉仕」なのか「親睦」なのか論議されるところですが、私は両方とも大切な事であり、無理をせず両方を進めて行きたいと思えます。

これからはたのしみな夕食です。130年の伝統ある竹平楼の料理を賞味いたしましょう。

萩原幹事報告



本日は皆様とご一緒に日本の古を感じられるすてきな紅葉を見ることが出来ました。

佐久間親睦委員長挨拶



本日は42名のご参加を頂き、有難うございます。佐川美術館・金剛輪寺そしてここ竹平楼へ無事着きました。後は名古屋へ帰るだけです。

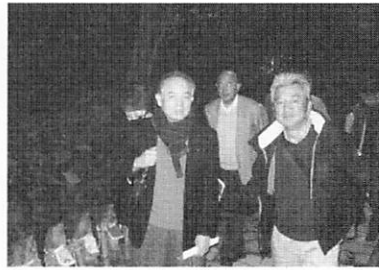
どうぞお食事におしゃべりにのんびりお過ごし下さい。



楽しかった、雨もなく良かった、さあ～飲もう！

家 族 会

会員26名と今回初めてご参加の家族も含め42名で琵琶湖へ。開館10周年記念の佐川美術館にて日本画家の平山郁生先生、彫刻家の佐藤忠良先生の作品を！



金剛輪寺の紅葉に向かう頃小雨が……雨男が降らせたのか？でも、晴男の願いが通じたのかすぐに止み、長い参道を登ると真っ赤な鮮やかな紅葉に、足腰の痛みも忘れ記念写真を



明治天皇も立ち寄られたという竹平楼で谷口クラブ奉仕委員長の乾杯にて懇親会を。お店自慢の鯉の飴煮や近江牛のしゃぶしゃぶを頂き楽しい一日を終えました。

先々週の例会

第1248回 平成20年11月10日(月) 曇

ガバナー公式訪問

(名古屋東・名古屋昭和RC合同例会)

◆“我等の生業”

◆“ふるさと”

◆ビジター紹介

第2760地区ガバナー 片山主水君

第2760地区副幹事 白木良彦君

◆ビジター数 (11/11) 77名

◆出席報告

会員 55 (52) 名 出席 32名

出席率 64.00 %

前々回 10月28日 (修正出席率) 96.15 %

宇佐美名古屋東RC会長挨拶



本日は片山ガバナー、白木地区副幹事にお越しいただき、誠にありがとうございます。また、千種、昭和の両クラブのみなさん、ようこそおいでくださいました。ホストクラブを代表して厚く御礼申し上げます。

さて、本日は開会の点鐘を、3回鳴らさせていただきました。

片山ガバナーは、東南RCの会長を務められていたとき、毎回例会で鐘を3回叩かれていて、それぞれに願いが込められていました。

1つ目は「奉仕」、2つ目は「親睦」、そして3つ目は「出席」です。このロータリーの3原則を一年間クラブ内に周知徹底させるため鐘を三つ叩かれていたそうです。

今日は3クラブ合同であることも含めて三つ鐘を叩かせて頂きました。千種・昭和の両会長さんも一度クラブで三つ叩かれてはいかがでしょう。

奉仕と親睦について、ロータリーでは車の両輪であると説かれていますが、本来の形は、前輪と後輪の間柄であります。前輪は、ロータリーの目的である奉仕を求めて方向を定める。後輪はその活力として努力する力である。親睦は奉仕の活力となる基礎・基盤であります。

久野会長挨拶

今日は、3RC合同であります。片山ガバナー、白木地区副幹事には11月15、16日の地区大会の直前であり大変ご多忙中を来会いただき、誠にありがとうございます。



また、本席を設けていただきました宇佐美会長、後藤幹事、田中会場設営委員長をはじめ名古屋東RCの皆様には大変お世話をかけ、千種RC一同を代表して心より感謝申し上げます。

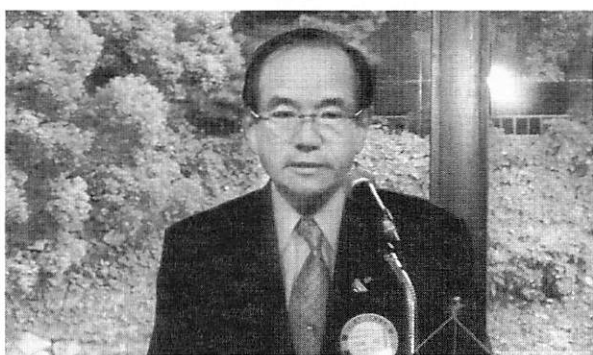
私ども千種RCは、昭和57年8月に名古屋東RCをスポンサークラブとして承認されてからもう26年を経てまいりました。

水野民也創立会長をはじめチャーターメンバーの何人かが幽名境を異にされ少し寂しくなりましたが、千種区・昭和区の緑に恵まれた文教・住宅地域を中心に家族的なクラブとして元気に活動しております。

今年度クラブテーマを「変化」として、僭越にも近年グローバル化少子高齢化さらには環境エネルギー対策など急速に変化している社会への対応を考えたいといたしました。最近の米国発の世界的な金融危機をきっかけとした景気の減速などの動きには、あまりにも急なあまりにも大幅なものであり、ただただ呆然とするのみであり困惑しております。

どうか今後も名古屋東RCまた昭和RCの皆様方にはよろしく御指導お付き合ひ賜りますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

加藤名古屋昭和RC会長挨拶



本日は片山ガバナー、白木地区副幹事をお迎えて3クラブ合同で11時半よりガバナー、地区幹事さんとの懇談会が行われ、ロータリーについての諸問題を話し合い、大変実のある有意義な時間を持つことができありがたく思っております。又、本日の合同例会を主催していただきました我々の親クラブである東ロータリーさんには心より感謝申し上げます、今年度は大きな節目50周年を迎えられおめでとございます。

我々、昭和ロータリークラブは今年17年目を迎えました。今年のクラブ、テーマを「和氣藹々」とし和や

かな雰囲気の中で「奉仕と親睦」をすすめていこうと思っており、その結果、今年度の大きな目標であります「会員の増強」につなげたいと思っております。

又、もうひとつ「地球に奉仕」というテーマを掲げております。これからはロータリーが地球環境の問題に全力で取り組まなければならないと思っております。我々昭和ロータリーもささやかながら2年前から川名公園に植樹を続けており、10数年後には「昭和ロータリーの森」ができるのを楽しみにしております。

残り7ヶ月半、頑張りますのでよろしく願います。

片山ガバナー講話



本年度の地区方針を「持続可能な前進」としました。これは、私がロータリーに入会した1972年にローマクラブが、『成長の限界』というレポートを発表しました。世界の未来はバラ色で、制限するものは何もないと信じられた時代において、爆発的な世界人口の増加と世界経済の急速な拡大という二大現象に対し、それらを支える食料の生産は同じように幾何学的に増やすことはできない、地下資源をはじめとする産業エネルギーは将来枯渇する危険性がある。これら4つの要素に、エネルギーを消費することによって生じる環境への負荷を加えた5項目をシミュレーションすると、人類社会の成長には限界があり、このままいけば近い将来死滅するであろう。このように大変ショッキングなレポートでした。その後、その系譜を引いて1992年の地球サミットで、「持続可能な発展、持続可能な開発」という言葉が出てきました。そのことがずっと私の脳裏に今まで刻み込まれていました。そこで今回、ガバナーとして地区方針を立てねばならないということになった時、それを思い起こした私は、ロータリーも環境や開発と似たような状況にあるのではないかと考えて「持続可能な前進!!」というテーマを掲げさせて頂いた訳です。

「持続可能な前進」とは、「足りない所は補い、余る所は削り、曲がっている所は真っ直ぐにしましょう。守るべき所は守り、変えるべき所は変えましょう」ということです。それを臨機応変に急がずゆっくりとやりましょう。という事であり、その延長線上に「調和の奉仕」を重点事項の一つとして挙げました。

ロータリーの姿形を図にすると、一番上に奉仕があって、そして親睦があり、その基盤が例会への出席

です。一番上にある奉仕がロータリーの目的です。この奉仕は「超私の奉仕に基づく人道的な行為」という理念に基づいているわけです。人道的な奉仕と新世代の育成という2本の柱で社会奉仕というものが出来ています。その理念、超私の奉仕は、自分のことはちょっと置いておいて、我を超えたところで奉仕をしようということです。滅私奉公、自分の欲を小さくして公のために尽くすことです。そういう緩やかな奉仕がロータリーの奉仕であると思っております。

そしてもう一つ、綱領にもあるとおり「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、育成する」という職業に関連した奉仕があります。「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」という奉仕。「最良奉仕の最多果報」と私はいっています。良い奉仕をしましょう。そうすれば沢山の利益、報酬がありますよ、だから最良の奉仕をしましょう、という意味です。これが職業奉仕です。

そこで、そうした奉仕をやらうと考えているロータリアン自身はどうなんだという事を考えてみる必要があるのではないかと、ということです。内に向かって自分はどうかという事を吟味する必要があると思います。昔から、修身齊家治國平天下ということを行います。やはり足元からということです。ロータリアンも自分自身の人格を向上させるということを意識的に持って、それを目的の一つに掲げる必要があるのではないのでしょうか。

社会奉仕は「超私の奉仕」です。職業奉仕は最良

の奉仕によって自分も他者も儲かりますよということですから「彼私の奉仕」です。そして自分を向上させる奉仕「唯私の奉仕」。この3つを「三私の奉仕」というふうに私は名付けて頭を整理しております。この3つの調和が必要だと思うわけです。

それでは親睦と奉仕というのはどういう関係にあるか。先程、宇佐美会長が「奉仕は前輪、親睦は後輪」と話されました。

目的はやはり前輪である。これはハンドルにつながれていて、ロータリーをどこへでも導く目的、これが「奉仕」なのである。「親睦」は後輪である。これはエンジンに直結して、エンジンをふかせば活力が出て、ロータリーが走っていくわけである。その走ってゆくことを奉仕という目的にしてロータリーをあちこちと導く。そういう関係が親睦と奉仕の関係であると思う。

だが、「親睦も奉仕もロータリーの目的ではないか」という人が多くいる。しかし、親睦は目的にはなり得ない。

目的というものは厳しく辛いものです。ところが親睦は楽しいものです。奉仕とは辛く厳しいものでそれが実現した暁には大きな喜びがあります。親睦には楽しみはあっても喜びはありません。奉仕は目的で、親睦は目的を支える基礎という関係だと考えられるわけです。

そしてそれを支えるのが例会への出席であります。

会長・幹事懇談会



片山ガバナー、白木地区副幹事との懇談会が開かれ、3RCの会長・幹事が出席し、地区方針等大変有意義なお話とご指導を賜ることが出来ました。

ローターアクトクラブよりお知らせ

- ・12月2日(火)(第323回) 点鐘 19:30
場 所:名古屋ガーデンパレス
メインテーマ:世界ローターアクト週間に向けて
(タイトル未定)
担 当:社会奉仕委員会
- ・12月20日(火)(第324回) 点鐘 13:00
場 所:寿司処 五一
(名古屋市中区新栄1-26-5)
メインテーマ:国際交流クリスマスパーティ
担 当:国際奉仕委員会

ニコボックス

久野 峯一

名古屋東RCさんお世話になります
ご苦労さまでした

足立 一郎 萩原喜代子

服部 正夫 池森 由幸

伊藤 健文 伊豫田博明

加藤 顕 加藤 重雄

小林 英毅

黒須 アイ子

西川 豊長

尾関 武弘

佐野 寛

鈴木 理之

谷口 優

小山 雅弘

水谷 祥督

大口 弘和

佐久間 良治

笹野 義春

竹内 眞三

舎人 経昭

遠山 憲孝

山本 眞輔

今日はガバナー公式訪問です
東RCさんお世話になります

合計
37,000円

次回例会 平成20年12月2日(火)

クラブフォーラム

地区大会報告